



用

極秘至急

電報

昭和一九八〇  
八月九日  
發  
八九三三  
五  
分  
付  
提  
出

旭部隊參謀長

通電先 次長 支急 (漢口南京) 波

旭參電第七七三號

八月八日 朝迄ニ於ケル狀況

一 衡陽方面

- (1) 隼部隊、密接ナル格ニ、  
ノ猛攻ニ依リ堅壘・衡陽城ハ本八月八日完全ニ陥落セリ  
軍ハ殘敵ヲ掃蕩スルト共ニ速クニ衡陽外周ニ燬集シ  
アル敵ヲ捕捉撃滅スク準備中ナリ
- (2) 衡陽攻略部隊ハ七日引續キ敵ヲ猛攻シ本朝廣部  
隊ヲ以テ城内ノ大半ヲ掃捲シ是部隊ヲ以テ衡陽城

南滿及岳解北端 岩部隊 天馬山西禪寺各北

端ニ進出セシガ之ヨリ先昨七日二十時頃提岩正面ノ敵ハ我

ニ投降引續キ續々投降中ニシテ既ニ第一ノ軍長同參謀

長第三師長第五ノ師長同參謀長豫備第一ノ師長暫

編第五四師長ヲ我ガ軍ニ收容セリ

(3) 一部ノ敵ハ尚城内ニ於テ抵抗シテ廣部隊ハ之ヲ掃蕩中ナリ

(4) 衡陽解圍ヲ企圖スル敵ハ依然執拗ニ反攻ヲ續行スルト

共ニ戰車及高射砲ヲ有スル自動車搭載部隊ハ衡陽

一衡陽道ヲ東進シ本朝其ノ先頭ヲ以テ二塘(衡陽西

八料)ニ進出セリ

成部隊ハ之ヲ攻撃中ニシテ戰車一臺ヲ擱坐セシム

(5) 軍ハ爾後作戰ノ爲開部隊長ヲシテ沅江方面ヲ確保シ

アルタル瀧部隊(未良橋羨舟江占領部隊ヲ併セ指揮)ヲ速カニ

先ツ湘郷高ヒ前進セシムル命令ス

二、江東方面

(1) 山部隊ハ昨七日橋部隊(歩兵二大隊半砲兵一中隊)迫撃

砲一中隊)及中部隊(砲兵二中隊)ヲ以テ來陽縣城及其

周邊ニ進出シタル暫編軍、師ヲ撃擯セリ

山部隊、進出ニ伴ヒ大坪部隊正面、敵ノ行動稍、消極

化セリ

(2) 健部隊木佐木部隊(歩兵二大隊)ハ本八日金華蓮

花附近ヲ出發シ安仁ニ向ヒ急進ス主力ハ概テ十一日蓮花

附近ヲ出發シ界首坪ヲ倒リ前進スル也

(3) 極部隊ハ本八日朝南村(蓮花西北一五料)富溪(東北一五料)

羅漢司(北九料)石橋(西北五料)間(戰鬥司令所富溪

附近)ヲ南進中

(4) 薛岳ハ、茶陵南方ニ在リタル第三四師及第一六師ヲ蓮花  
西南ニ萍鄉西方ニ在ル第九師及第一六師ヲ蓮花東  
北ニ前進セシメ蓮花ヲ奪回スベク部署セルモノ如シ

(終)

2161

535

日  
記  
用

機  
密



機要電報

八月十日六時三十分(電報班受付)

昭和一九、八、二〇  
八月十日六時三十分(電報班受付)  
八月十日六時三十分(電報班受付)

通電先 次長(次官)

旭放送第七二號 (八月九日)

旭 部 隊 參 謀 長

「衛州」方面

(1) 奉九日朝ノ空中偵察ニ依レバ敵機檢査部隊ノ「衛州」方面  
 及「道土」(英機)附近ニ四車隊「西濱」西方ニ八車隊「衛州」  
 「零陵」道土「四塘」ニ八車隊「五塘」ヨリ「六塘」間ニ  
 八車隊「七塘」ニ四車隊「八塘」ヨリ「九塘」間ニ三車隊「大カ  
 シ」市「九塘」間西南方ニ三〇軒「四車隊」以上自動貨車  
 及「九塘」附近ニ限車「アリ」又「大カシカン」ニハ貨車六〇  
 〇「チキンヤ」通行ノ形跡アリ同地附近ニ自視兵力約七〇〇  
 〇アリ

536

2162

(2) 第七九軍ハ六日「高橋」(「湯崎山」東北二村)「板橋」北  
東三村)「狭山沖」(北四村)「東岳観」(北四村)ノ線ニ  
於テ交戦後西方へ移動

七日夜第一九四師師部ハ「斗石沖」(「板橋」西八村)第九  
八連隊ハ「花口元橋」(北四村)軍部ハ「側殿塘」(西五村)  
ニアリ同軍ノ部隊ハ「西澤」(西四村)ニ在ル兵站分站ヨリ  
補給ヲ受ケアルモノノ如シ

警備第六師ハ「寶慶」ニ近ク進出中

(3) 第一〇〇軍突撃隊(四箇營)ハ七日夜「雨母山」中腹ニ在リ  
(4) 第六二軍ニ戦車配属セラレタルモノノ如シ  
ニ「江東」地區

(1) 第二六軍ハ飛行機ニ協力ヲ求メ二箇團ヲ以テ「龍形坪」(「小  
水舖」西西北方二村)「五家仙」(西二村)ノ我が陣地ヲ攻  
スベク企圖シアリ

(2) 第一六二師主力ハ七日「森州」ハ「蓮花」西二五軒ニ第四八五

團ハ「南陵」ハ西南方一〇軒ニ「蓮花」東田」ハ「西六軒」ニ南

北南進中

第九九師ノ第二九七團ハ六日以降「下海潭」ハ「交州」西北一〇

軒ニ第四八六團ハ八日「羅漢寺」ハ南四軒ニ於テ我方軍ト交戦

中ナルモノノ如シ

(3) 第一三四師ハ八日頃「文竹」ハ「蓮花」東南一六軒ニ第一六軍

ハ「高隴」ハ「蓮花」西南方二四軒ニ在リ

兵站線方面

(1) 第九八師參謀ノ指揮スル一部ノ敵ハ「南岳市」附近ニ在リ

(2) 第二六軍「エイ」ハ七日「廖田」ハ「來陽」北北西二八軒ニ日

リ「郭門舖」ハ南南東四軒ノ間ノ道路破壊ヲ企圖シアリ

(3) 「梁得奎」ハ第五八軍副軍長ハ「瀏陽」附近ニ於テ民衆ノ武装

團ヲ組織シ交通通信網等ノ破壊ヲ企圖セリ

(終)





於ケル敵ヲ殲滅シ部隊ノ右翼ヲ花江渡附近ニ延伸シ重防ヲ右翼ニ保持シ東湖市ハ衡陽西西南三〇軒一方向ニ對シ攻勢ヲ探リ得ル如ク準備スベシ

岩部隊ハ狂羊(衡陽西北北一三軒)北方山地ニ滞在シテ八月二十五日頃迄ニ企圖ヲ秘匿シツツ龍興橋(永豐東南方二〇軒)沙村ノ線ニ進出シ洪山廟(衡陽西南方五〇軒)方向ニ對シ作戰ヲ準備スベシ

現管備地域ノ管備ハ之ヲ堤部隊ニ移讓スベシ

四堤部隊ハ岩部隊ノ北進ニ伴ヒ樟木市一集兵渡一伏陂橋北岸石斗山ノ線以南及舊岩部隊ノ管備ヲ岩部隊ヨリ繼承スベシ

指揮轉移ノ時機ハ二十日零時トス

(終)

於ケル敵ヲ殲滅シ部隊ノ右翼ヲ花江渡附近ニ延伸シ重防ヲ右翼ニ保持シ東湖市ハ衡陽西西南三〇軒一方向ニ對シ攻勢ヲ探リ得ル如ク準備スベシ

親筆



蕩中

(2) 松部隊八十五日極部隊ト茶陵ノ警備ヲ交代シ攸縣ニ向ヒ前進中

(3) 宮部隊八十五日建部隊ノ一部ト安仁附近ノ警備ヲ交代シ十七日黃泥鋪(安仁南六軒)附近ノ敵ヲ撃破前進中

敵情

(1) 第六師ノ一部ハ河田市南方地區ヨリ新塘站(河田市西南四軒)ニ至リ陣地構築中  
三語不明地區ニ避難セル住民ハ十九日朝來左岸地區ニ歸來シツツアリ (堤部隊報)  
(2) 來陽東岸及南岸地區竝ニ煙頭街胡村(共ニ來陽西南)周邊地區ニハ依然迫撃

砲ヲ有スル敵在ルモ其ノ行動活潑ナラス  
(山部隊報)

(3) 株州周邊地區ニハ尙少數ノ敵敗殘兵蠢動  
シアルモノノ如ク鐵部隊及兵站警備隊之  
ヲ掃蕩シアリ

(終)

543 8019

2167-3





南二二汗)一記與橋(西四用一二汗)道沿ノ地區編修、  
間地區ニ向ヒ前進ス

山崎部隊ハ十九日朝及十加ハ十八日夜夫々磨神渡ヲ渡河、  
附近ニ在ル十五槽ハ十九日夜渡河セシ管

第七九師ハ十九日十八時湖口壩(茶陵用南東二五汗)東北地區  
ニ到着渡河シ二十日浣溪壩(茶陵用方三八汗)ヲ經テ江口州(安  
仁用南東二三汗)ニ向ヒ前進中

明日ノ天氣

衡州 北寄ノ風〇一二時々曇

長沙 晴一時曇

(終)





116

交代セシムベシ  
岩部隊ハ×日夜以降重點ヲ右以ニ保持シ金剛寺方向ニ作戦シ得

ル如ク準備スベシ

四 堤部隊太田支隊（歩兵四大隊、山砲二大隊基幹）ヲ以テ八月二

十五日二十四時迄ニ狭山沖、鴉窩山間ノ宮部隊ヲシテ交代セシ

メ予ノ直轄ヲラシムベシ

六 廣部隊ハ現任務ヲ續行スベシ

七 鹿部隊ハ×日夜以降主力ヲ以テ茅祠橋附近ヲ經テ洪橋方向ニ

有力ナル一部（第三師團長）ヲ湘江北側ニ沿フ地區ヨリ祁陽方

向ニ作戦シ得ル如ク準備スベシ

八 山部隊ハ從部隊ノ來陽進出ニ伴ヒ逐次兵力ヲ支河東方地區ニ陽

動シ祁陽南方地區ニ向ヒ爾後ノ作戦ヲ準備スベシ

九 從部隊ハ速カニ來陽附近ニ進出シ山部隊ヲ推進スルト共ニ有力

ナル一部（歩兵二大隊）ヲ規管南（來陽東二四軒）附近ニ配置

シ適時敵ヲ擊滅スベシ

九×日ハ八月二十九日トス

馬場

2172

547



警備隊、第五十二兵站警備隊、第十三野戰輜送司令部、自動車第  
 二十二聯隊、自動車第二十四聯隊、自動車第三十七聯隊、獨立自  
 動車第六十九大隊、獨立自動車第八十一、第三百十、第三百十二  
 第三百十三、第二百六十六、第二百七十九中隊、第六師團架橋材  
 料中隊、第七師團架橋材料中隊、第五十三野戰道路隊、第十一野  
 戰勤務隊本部、陸上勤務第六十三中隊、水上勤務第四十三、第四  
 十五、第五十四中隊、第九師團第二水上隊、第十師團第二建  
 築隊、第七師團第二建築隊、野戰豫備病院第二十一班、  
 第二百二十七兵站病院、第二百二十八兵站病院、第三百二十二兵站病院  
 患者輜送第九班、患者輜送第八十二小隊、患者輜送第八十六小隊  
 患者輜送第五十九小隊、患者輜送第八十三小隊、第十一軍野戰兵  
 器廠、第十一軍野戰自動車廠、第十一野戰貨物廠、

極秘親展

日  
電  
用

第三號

至急作戰緊急電報

昭和一九、八、二九  
八二八〇發  
八二八二〇受付  
〇七三三押出

通電先 次長 支線(漢口) 第五航空軍 第一飛行團

旭參電第六三號

旭部 隊 參 謀 長

衛陽西方地區ニ於ケル攻勢部署左ノ如キ

旭依命甲第一七三號要旨(二十七日十二時)

一 軍當面ノ敵ハ防勢ニ轉移シ其ノ右翼ハ常寧正面ニ其ノ左翼ハ永豐  
正面ニ延伸且逐次縱深配置ヲ採リツツアリ

一 軍ハ先ツ主力ヲ以テ衛陽西南方ノ敵ヲ洪橋附近ニ捕捉殲滅セント  
ス軍部隊ハ重ノ殲滅戰ニ協力ス

一 光部隊ハ永豐附近ニ進出シ黒田部隊ヲ以テ八月三十日日夜後行動  
ヲ開始シ永豐一嶺子劫(永豐南南四八杆)一嶺子劫(西南一〇杆)

一 根門樓(南南四一〇杆)一余田橋(西南二〇杆)進リ余田橋ニ  
向ヒ前進シ衛陽一貫道ヲ分リスベシ

550

2175

116

南後敵地附近ニ在リテ周知ノ敵ヲ索メテ撃滅シ寶慶方面ノ敵ニ對シ宜ノ右側ヲ掩護スベシ

部隊主力ハ逐次永豐附近ニ集結シ適時寶慶狀況ニ依リ余田橋方面ニ攻勢ヲ採リ得ル如ク準備スベシ

内岩部隊ハ主力ヲ以テ八月三十日日没後龍興橋附近ヲ發シ金蘭寺西方地區ニ突進シ先ツ衡陽一寶慶道ヲ分斷シ一部ヲ以テ三十一日日没後渣江附近ヲ發シ一部ヲ以テテラ廟一西渡西一〇軒一附近ヲ經テ渣江西北地區ニ進出セシメ相策懸シテ當面ノ敵ヲ金蘭寺附近ニ

捕捉殲滅スベシ狀況ニ依リ一部ノ兵力ヲ撥ツ失セズ白地市一祁陽北二五軒一又ハ洪橋方面ニ挺進セシメ得ル如ク準備スベシ

官部隊ハ主力ヲ以テ八月三十一日日没後攻區ヲ開始シ蒸水西岸地區ヨリ演陂橋一關帝廟一洪橋北北西一五軒一附近ヲ經テ江坪里西

南方地區ニ有カナル一部ヲ以テ九月一日頃蒸水東岸地區ヨリ白家

坳附近ニ向ヒ突進シ敵ヲ殲所ニ捕捉殲滅スベシ

軍機秘

551

2176

特ニ敵線ヲ突破セバ擬進大隊長ニ要地ヲ確保セシメ敵ノ退路斷  
ニ遺憾ナカラシムベシ

六 太田支隊ハ九月一日拂曉攻勢ヲ開始シ迅速ニ當面ノ敵ヲ突破シ新  
橋附近ヲ經テ探山嶺方向ニ突進スベシ

七 廣部隊(山崎部隊配屬)ハ九月一日拂曉攻勢ヲ開始シ迅速ニ當面  
ノ敵ヲ突破シ洪橋ニ向ヒ突進スベシ

八 廣部隊ハ八月三十一日日没後攻勢ヲ開始シ茅桐橋附近ヲ經テ洪橋  
北方地區ニ向ヒ突進シ敵ノ退路ヲ遮斷シ隨所ニ敵ヲ殲滅スベシ

特ニ突破後茅桐橋一洪橋間ヨリ敵ヲ脱逃セサル如ク處置スベシ  
六宮、太田、廣、廣部隊ハ敵ノ退避ヲ考慮シ適時攻勢前進ヲ開始シ  
得ルノ準備ヲアルベシ

五 山部隊ハ來陽守備ノ任ヲ針部隊ニ移譲シ主力ヲ以テ八月二十九日  
日没後攻勢ヲ開始シ當面ノ敵ヲ突破シ常寧附近ヲ經テ祁陽南方地

第一支隊ノ... (江渡河助ヲ扼シ敵ノ退)

路ヲ遮リスベシ

此ノ間一部ヲ以テ琴陵方向ノ敵ニ對シ背後ヲ掩護セシムベシ

二 剣部隊針部隊ヲ以テ來陽附近ヲ確保セシメ山部隊ノ主力ヲ推進セ

シメ主力ヲ以テ逐カニ所命ノ地點ニ前進スル如ク待機シ當面ノ敵

ヲ突破シテ山部隊ノ前進ヲ容易ナラシムベシ

三 塙部隊ハ前任務ヲ續行スベシ

2

553

2178

(終)



密用

日誌用事極秘

至急電報

通電先 次長、支總（漢口、南京）

旭電報第七八號

衡陽方面

(1) 光部隊ノ先遣隊ハ昨二十七日永豐附近ニ進出ス主力ハ二十五日夜以

降逐次湘江ヲ渡河シ先ツ湘潭一湘鄉ノ間ニ於テ兵力ヲ集結シタル後

九月三日乃至七日頃永豐附近ニ進出スル豫定ナリ

(2) 官部隊ノ堀内部隊ハ二十六日零時太田部隊ト交代ヲ完了二十七日夜

主力方面ニ進出セリ

(3) 隊第三師團ハ去ル二十六日夕迄ニ白路切（衡陽北北東一六折）ヨ

リ九渡鎮（北二、五村）北側地區ニ集結ヲ完了シ銳意戦闘準備ナリ

(4) 敵ハ第七四軍ヲ以テ英陵一金岡寺ノ間ニ陣地ヲ占領セルモノ如シ

第五七師ハ二十四日新化ニ進出セリ

昭和一九〇八年、二九  
八二八二二〇發  
八二九〇九二〇受付  
旭部隊參謀長

第二四集團軍司令部ハ寶殿ニ在リ

(5) 一兩日(第四六軍及第六二軍ハ依然陣地構築ニ専念シツツアリテニ塘

三塘附近及石井峯附近ニ陣地ヲ概成セルモノノ如シ

(6) 第三七軍ハ目下主力ヲ常寧附近ニ集結シ懇切ヲ整理中ナルモノノ

如シ

ニ其ノ他ノ方面

(1) 健部隊ハ山部隊ノ一部ヲ併セ指揮シ安仁南方地區ニ於テ敵第二〇軍

主力及第九九、第一六二師ヲ攻撃中ナリシモ二十六日之ヲ安仁一帯

陽道ノ以東地區ニ壓迫、主力ヲ以テ三十一日頃乘陽附近ヲ進出ノ詔

定

(2) 本部隊ハ去ル二十六日二十三時迄ニ主力ハ醴陵附近ニ集結ヲ完了

三十一日黎明ヨリ該地周邊ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備中

(終)



(一) 第五七師、二十六日、靈貞慶西北地區に到着シアリ  
 (二) 廣部隊、偵察依レバ、上栗塘、四塘、東南三村  
 及塩陂、掘、西南三村、迫撃砲、其南方高地ニ  
 新ニ陣地ヲ構築中ニシテ、目撃ス又「四塘」附近ニ自  
 動貨車約一〇車輛アリ  
 三、明二十九日、衡州附近西寄後北寄、風〇―三米  
 晴一時快晴後曇

(終)

第三編

軍事機密

電報

九一〇 呼出五發  
〇五三九 著  
九一〇 〇六三 受付  
〇九四 提出

昭和一九、九、二

旭部隊參謀長

通電先 次長、總參謀長（漢口、南京）

旭參電第一三四號

衡陽方面

(1) 軍ハ豫定ノ如ク衡陽西南側ノ敵ニ對シ攻勢ニ轉移セリ

(2) 山部隊ハ二十八日夕橋部隊ヲ以テ秧田墟（常寧東二四軒）附

近ニ反攻中ナル第二六軍ヲ擊碎シツツ支河ヲ渡河シ秧田墟

常寧道ヲ突進中本三十日期神部隊ハ下灣橋（秧田墟西南方六

軒）戰鬪司令所ハ八冲鋪（耒陽縣西南八軒）ニ進出セリ

追及中ノ松部隊ハ二十九日十一時三十分東灣へ来陽東北八紘  
ニ進出ス

(3) 廣部隊ハ二十八日朝一箇大隊ヲ以テ七里山南方「大山ソウ」土  
阜及其ノ西南方閉鎖曲線ノ兩高地ヲ奪取セリ

ニ其ノ他ノ方面

敵第五八軍ハ二十五日頃以來昭陵、淦田、朱亭附近ヲ包圍攻襲  
中ニシテ同地ニ在ル我ガ鐵道及水路警備隊ハ之ト激戰中ニシテ  
株洲及衡山ヨリ一部ヲ急進セシメツツアリ

(終)

軍事極秘

至急電報

昭和一九三九

九一。二四。發九一。一三。受付  
二。着九一。一七。六提出

通電先

次長、支總

第五航空軍

旭部隊參謀長

旭參電第一四九號

衡陽西方面

(1) 山部隊ハ第二六、第三七軍兩軍ノ反攻ヲ其ノ初動

ニ於テ擊摧シツツ突進中ニシテ橋部隊ハ三十日朝

一部ヲ以テ沙江鋪(艾河西四料)

神部隊ハ二十八日朝煙洲湖(南七料)附近ニ進出

セリ

(2) 光部隊ハ永豐附近ニ集結セル部隊(歩兵三大隊

基幹)ヲ以テ昨日三十日没後行動ヲ開始シ

永豊―梅子均(永豊南南西八料)―花筒(南南西  
一。料)道ヲ攻撃前進中ニシテ部隊主力ハ戦鬪司  
令所ヲ以テ本三十一日朝十萬土驛(湘潭西一料)  
ニ達セリ

(3) 岩部隊ハ昨三十日日没後瀧寺部隊(砲兵大隊ヲ屬ス)  
茲ニ加川部隊砲兵(大隊ヲ屬ス)ヲ以テ夫々龍輿橋石虎堰(查江北北  
西三料)附近ヲ出發 龍輿橋―孟公均(西五料)  
―鎖墟(西西北四料)―丙石(西)―柏加山(西西  
北五料)―回子拗(西南四料)道ヲ攻撃前進中  
永豊附近ハ二十八日夜以後岩部隊ノ一箇大隊ヲ以  
テ確保シアリ

(4) 其ノ他ノ諸部隊ハ夫々攻撃準備完了シ前進ノ  
時機ヲ待チツツアリ



ニ其ノ他ノ方面

(1) 健部隊ノ主力ハ安仁南方ニ兵力ヲ轉用シ敵第  
二〇軍ヲ撃擯シツツアリテ九月一日來陽附近ニ集  
結ヲ完了シアル見込

(2) 本部隊ハ昨三十日黎明攻撃ヲ開始シ醴陵奪回ヲ  
企圖シ蠢動中ナル敵第七二軍ヲ撃擯シツツアリ

(終)

第二課

陸軍省

電報

傍受電報

通官先 次長(次官)

號 外

旭放送第九六號八月三十一日

「三衛州」方面我が軍ノ状況

軍ハ諸準備ヲ完了豫定ノ如ク「三衛州」西南方ノ攻勢ヲ發起セリ

(1)山部隊二十八日夕「橋」部隊ヲ以テ「秋田墟」ハ「常寧」東二

六軒ノ附近ニ反抗中ノ第二六軍ヲ殲碎シツツ「支河」ヲ渡河

「秋田墟」ハ「常寧」道ヲ突進中三十日朝「神」部隊「下灣橋」

「秋田墟」西南六軒ノ戦闘司令所「八沖鋪」ハ「泉陽」西西

南八軒ニシテ通過西進中

前進中ナル「松」部隊ハ二十九日十一時三十分「東灣」ハ「泉

陽」北八軒ノ附近ヲ「來陽」ニ向ヒ前進中

(2)「廣」部隊二十八日朝「簡大隊」ヲ以テ「七里山」南方「大山」

昭和一九、九、一

八月三十一日八時三十分(電報班受付)

旭部隊參謀長

2188

563

ウ」及其ノ西南側閉鎖曲線ノ高地ヲ奪取セリ

(3) 若部隊「宋水」大隊ハ二十八日夜「倉重」大隊（「宮」ト交代

ヲ終レリ

→「徐州」方面ノ敵情

敵ハ依然陣地強化道路破壊ヲ實施シツツ各所ニ於テ偵察戰的小  
出撃ヲ反復シツツアリ

(1) 本三十一日朝ノ空中偵察ニ依レバ「西渡」附近ニ約五〇〇其ノ

東北側高地ノ陣地「蔣軍函」（西北六紮）東側及西側路上ニ各

三二〇〇「演陂橋」（西北五紮）ニ約一〇〇〇ノ敵ヲ目視スル

外「西渡」上「演陂橋」間ハ苦力ヲ使用シ道路破壊中

(2) 二十九日朝「七里山」附近ノ我方陣地ニ迫撃砲射撃ニ膺接スル

小兵力ノ出撃アリ

(3) 二十九日朝「楊柳橋」（宮正面「鹽源市」東六紮）西側陣地ニ

約三〇ノ敵出撃セリ

④山部隊正面ノ敵ハ第二六軍ニシテ「二語不明」ヲ企圖ス 尙第三十七軍ハ山部隊ノ進出ニ伴ヒ後退軍長ハ第六〇師ニ待機ヲ命令セリ

其ノ他

(1) 偵部隊主力ハ九月一日朝迄「赤陽」附近ニ到着ヲ豫想シ得ス

(2) 空中寫眞ニ依レバ「衡州」―「零陵」道(破壤前ノ自動車道)

ハ「洪山廟」―「衡州」西南四六杆ヨリ「草塘」(西西南)

三杆)「乾山坪口」(西七杆)「沙灘橋」(南南西九杆)ヲ經

テ「祁陽」(南一五杆)ニ通ジアリ尙本道路「一語不明」(白

鶴汎)―「祁陽」間ニ「二語不明」乃至一〇米毎ニ破毀セラレ

アリ

夜間衣軍服副機ノ特徴(識別)

爆音金屬性ニシテ清イ音先端部ハ圓形ニシテ流線型頸端ハ丸味

ヲ帶フ識別ノ爲其前縁ニ黄色塗料ヲ塗りアリ

頸長ニ比シ胴體長シ

2 (終)

軍事秘報

電報

通電先 次長、樞軍、旭、仁、北

呂後部隊參謀長

參考

呂武集參電第二三二號

ハ三二〇ハ一五發  
ハ三二一ハ一六二五受付  
ハ三二二ハ一九三〇提出

昭和一九、九、一

2191

第五、第六戦區ノ敵ハ衡陽奪回ノ企圖ニ策應シ八月中旬以降武漢地  
區ニ對シ反攻ヲ開始セルモ各兵團ノ反撃ト航空部隊ノ協力ニ依リ之  
ヲ碾碎シツツアリ

第六戦區方面

敵ハ宜昌奪回ヲ企圖シ十二日以來第三十九師團正面ニ對シ反攻ヲ  
開始シ其ノ一部ハ第一七九師主力及第一八五師ノ一部ニハ配備ノ  
間隙ヨリ警備地區ニ侵入シ來レルモ各部隊ノ機ヲ失セザル反撃ニ  
依リ其ノ都度撃退セラレ反抗ハ逐次低調トナリツツアリ

三十日正午迄ニ判明セル主ナル戦果左ノ如シ

遺棄死體、八五一、俘虜、五二、鹵獲兵器迫撃砲、一、重機、二、  
輕機、四、小銃、五〇

我方損害 戦死二五（内將校二名） 戦傷六二（内將校九名）

第五段區方面

(1) 第十野戦補充隊正面

暫編第一師及遊撃第六縱隊ノ一部計約三千八十一日以來配備間隙  
ノ京山（縣城西北約四〇軒）附近ニ進出セルモ航空部隊ノ西進ト  
各部隊ノ反撃ニ依リ二十四日以來北方ニ退却セリ、又證祥、安陸  
正面ノ敵第一二二師主力ハ十九日以來該地ニ對シ攻撃續行中ナル  
モ其ノ都慶之ヲ退却シアリ

(2) 獨立歩兵第十一旅團正面

豫南挺進軍及第五一、第八四軍各一部ハ京漢線遮斷ノ企圖ヲ有スルモ  
ノノ如ク遂次我方第一線ニ近ク推進シ攻撃ノ機ヲ窺ヒツツアルモノ  
ノ如シ

(終)

軍事極秘

傍受電報

昭和一九、九、二

九、二、三〇發

九、二、三〇〇受付

九月二日六時（電報班受付）

通電先 次長（次官）

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第九七號

九月一日

我方軍ノ狀況

「衢州」西南ノ敵ニ對スル擊滅戰ハ順調ニ進捗シツツアリ  
敵ハ各方面共ニ動搖シアリ

(1) 山部隊

當面ノ敵第二六、第三七軍ヲ擊滅シツツ本一日朝戰團司令所ヲ  
以テ「益湖市」(「常寧」東一七軒)ニ進出ス

(2) 鹿部隊

右突進部隊(第二大隊基幹)ノ主力ヲ以テ本一日黎明「鐵車江

中突進部隊（三大隊基幹）並ニ左突進部隊（二大隊基幹）ハ夫々二縱隊トナリ昨三十一日夕「茅桐橋」並ニ「洪橋」地區ニ向ヒ突進中ニシテ本一日四時戰團司令所ヲ以テ「險山舖」（「隆興市」西九軒）ニ進出シアリ

(5) 廣部隊

本一日黎明迄ニ主力ヲ以テ「雨母山」西側及其ノ西南地區ニ展開・砲兵射撃ノ支援下ニ敵陣地ニ突進セリ

(4) 太田部隊

本一日黎明主力ヲ以テ「板橋」西側高地ニ向ヒ、一部ヲ以テ其ノ北側ヨリ「劉家坳」（「板橋」西四軒）ニ向ヒ攻撃前進中

(5) 官部隊

本一日朝小柴部隊ヲ以テ「汪公塘」（「演陂橋」西南四軒）戶田部隊ヲ以テ「將軍園」（京六軒）ニ進出セリ

極秘親展



軍事用

軍事

和秘

至急電報

昭和三十九年九月三日  
九二一五五著九三二六八  
昭和三十九年九月三日  
昭和三十九年九月三日

通電先次長支總(漢口、南京)集

旭參電第六一號

九月一日朝迄ノ状況

衡陽西方會戰ハ順調ニ進捗中ナリ

敵ハ各方面共ニ動搖明白ニテ其ノ第一線ハ敗退

シツツ下ルモ依然主力ヲ以テ大雲山、六塘、茅相橋

線ニ於テ抵抗スルモ判断セラル

一宮部隊ハ本日朝小柴、戸田兩部隊ノ各々先頭

以テ汪公塘(漢陂橋西南)四軒)將軍亟東

線ニ進出セリ

空軍偵察機依リ備前ノ敵ハ備前部隊正面ニ約三〇〇ナリ

二 太田部隊ハ本一日黎明主力ヲ以テ板橋西側ニ向ヒ一部ヲ以テ主力北側ヨリ趙家ゲシ(板橋西四料)高ト攻撃前進中ニシテ現在迄大ナル抵抗ニ會セザルモ

ノノ如シ

三 廣部隊ハ本一日黎明迄ニ主力ヲ以テ雨母山西側及其ノ西南地區ニ展開天明後攻撃前進セリ

四 鹿部隊ハ右突進部隊(三大隊)ヲ以テ本一日黎明鐵開鋪同日車江市西南(六料)敵陣地

急襲

中突進部隊

(三大隊)ハ夫々ニ縱隊トナリ昨三十一日日没後攻撃

前進ヲ開始シ本(日)十二時戦闘司令部ヲ以テ

沖(隆)興市西南(八)料ニ進出セリ

五山部隊主力六附近ノ敵ヲ攻撃抵抗スル敵ヲ撃碎シ

テ常寧東側(四)料主力ヲ以テ曲潭市(常寧東側

料)戦闘司令部所ハ益湖市(西五)料)神部隊ヲ以テ

煙洲湖(東南(一)料)ニ進出セリ

空中偵察ニ依ル當面ノ敵ハ常寧東側ニ於テ輕易

ナル陣地ニ據ル兵百及洋泉(常寧西南(一)料)附

近ニ馬匹ヲ有スル約七(一)料

六光ノ一部ニ岩部隊ノ進出状況明カナラス

七光部隊ノ主力ハ步兵五大隊山砲四中隊基幹ヲ

以テ九月四日五時頃迄ニ氷豊附近ニ進出第4師團  
歩兵三大隊砲一中隊補充員約千基幹(來客)  
待事ヲ會戰參與、準備ヲ完成スベク企圖シアリ  
八本部隊ノ醜陵附近、敵第七二軍ニ對スル戰手成  
戰ハ順調ニ進捗中ニシテ昨三十一日正午迄ニ敵  
要陣地ヲ突破シ戰果擴張中ナリ

(終)

573

2198

第一〇九三號

秘

至急作戰緊急電報

九、一、二五、〇發  
九、一、二五、〇受付  
九、一、二五、〇提出

昭和十九年九月三日

通電先次長、支總（南京、漢口）旭部隊參謀長

參考五航軍第一飛行團

旭參電第一七八號

衡陽西方、敵八日以降退却、微アリ特ニ二日各兵團ハ夫々  
追撃ヲ開始セルヲ以テ軍ハ左記要旨、追撃命令ヲ下達セ

一、敵主力ハ祁陽方向ニ退却中ニシテ約六〇〇ノ敵ハ洪橋西

方地區近ク敗走中ナリ 二日八時宮部隊ハ關帝廟

附近ヲ廣及太田支隊ハ白鶴鋪附近ヲ、鹿部隊ハ洪橋

南方地區ヲ共ニ追撃中ナリ

（軍ハ敵ヲ盡滅シテ祁陽西口ヲ料）石斯站、零陵附近、

線ニ追撃セシトス  
 三山部隊ハ祁陽附近ニ於テ敵ノ退路ヲ遮断セバ機ヲ失セズ  
 零陵飛行場ヲ占領零陵攻撃ヲ準備スベシ  
 四鹿部隊ハ洪橋ト文官殿道以南ノ地區ヨリ敵ヲ湘水ニ  
 壓迫スル如ク祁陽東西ノ線ニ向ヒ追撃スベシ  
 五廣部隊ハ概ネ鐵道線路ニ沿フ地區ヲ石斯站北方地區  
 ニ向ヒ敵ヲ追撃スベシ  
 六宮部隊ハ概ネ黃士鋪ト文明鋪ト蘆洪司道ニ沿フ地區  
 ヲ蘆洪司道ニ向ヒ追撃スベシ  
 七大田隊ハ逐次洪橋周邊地區ニ集結シ殘敵ヲ撃滅ス  
 ルト共ニ爾後追撃ヲ準備スベシ

(終)

575

2200

第三課

本利

毎受電報

次長(夜信)宛

旭放送第九八四

九月二日

旭部隊參謀長

昭和一九、九、三

九二〇二一五發

六二

二〇三〇發付

九二一九三〇發

二〇三〇提出

九月三日八時十五分(電報班受付)

敵主力ハ西南方ニ潰走シツツアリ各部隊ハ之ヲ追蹤中ナリ

官部隊ハ本朝其ノ先頭ヲ以テ「一語不明」北側ニ達セリ「關帝廟」附近ニ敵兵ヲ認メズ

廣部隊並ニ太田部隊ハ其ノ先頭ヲ以テ本朝「一語不明」東東南一〇軒中突進部隊ヲ以テ「洪橋」南七軒附近ニ進出シアリ

「大營市」ヨリ「洪橋」西側間ハ本朝七時三十五分嶺山徳及衆島

二〇〇頭ヲ有スル約六千ノ敵艦走中ナリ

第四六軍軍部ハ三十一日夜半第六二軍軍部ハ昨日十六時三十分

頃ヨリ退却ヲ開始セルニシテノ敵艦

四山部隊ハ一日朝兵ノ先頭ヲ以テ「上埠頭」東側ニ進出シアリ爾後

當面「二語不明」「那陽」西南側地區ニ敵影ヲ認メズ、同地附近ノ

「湘江」渡河點ヲ扼シ軍主力方面敵軍ノ退路ヲ遮断ス

當面ノ敵第三七軍、第九五師ハ昨日「洋泉」(「常寧」西南方一

三軒)周邊ニ集結シツツアリ

(終)

2202 577





軍事秘

用

至急電報

通電先次長 總參謀長

(漢口南京) 軍

相參電第之七號

九月二日朝迄ノ狀況

衡陽西方ノ敵ハ西南方ニ潰走シツツアリ

各部隊ハ之ヲ追撃中

116 一、岩部隊ハ三十一日金蘭寺附近ニ於ケル一部隊ノ敵ヲ

撃攘シ同地周邊ニ集結セリ

二日戰鬥司令所ハ芙蓉橋(金蘭寺東五料)

ニ在リ(電誌脱?)

支那軍事情顧問ノ陳述ニ依リハ同方面敵約

昭和一九九四

九三三三〇發九三三三〇發

相部隊參謀長

ハコッハ三十一日寶慶向ク後退セリト

軍ハ岩部隊、有カナル一部ヲ以テ余田橋(金

蘭寺西一料)一、美官殿(南南西一五料)一

黄土鋪(南一五料)一、文明鋪(南南西一料)首

沿フ地處ヨリ文明鋪東側地區ニ挺進セシメ敵退路ヲ遮斷

スベク一日十六時發令セリ

二宮部隊ハ一日夜泗水塘(洪橋北ニ料)芭蕉

坳(東南方四料)附近ニ於テ敵第五一師主力

ヲ撃擯シ本二日朝其先頭ヲ以テ關帝廟(

洪橋西北北一五料)北側ニ達セリ

三太田部隊ハ前面ノ敵情ニ鑑ミ直路(六塘西

北ニ料)敵ヲ追撃本朝戰鬪司令所ヲ以テ

六山部隊ハ本朝常寧ノ敵第三七軍ヲ攻撃中  
 ナリ  
 廣部隊正面ノ敵第四六軍軍部ハ三十一日夜半以後  
 鹿正面ハ第六二軍軍部ハ一日夜移動セシムル如シ  
 五鹿部隊ハ所在ノ敵ヲ撃擧シツ本朝第一線ヲ  
 以テ洪橋西方地區七料雲眉山東南方一料附近  
 二戰闘司令所ヲ以テ十三時五十分頃空眼塘ハ  
 金蘭寺南三料附近ニ進出續イテ祁陽ニ向ヒ追  
 撃ヲ企圖シアリ  
 四廣部隊ハ本朝早朝戰闘司令所ヲ以テ五塘  
 第一線ヲ以テ洪橋竝ニ其ノ南側地區ニ進出セリ  
 タン山レイニ第一線ヲ以テ洪橋東北ニ達ス

終